

京都京北小中学生と一緒に。めざせ「ごみ・SDGs博士」!

4年生と2回に渡り「ごみってなんだろう」と考えました。子どもたち自身がイメージする「ごみ」についてまとめたり、3人のゲストスピーカーの話を聞いたりしました。すでに「ごみ」へのイメージに変化が起きています。ゲストの方と児童のふりかえりの一部を紹介します。



布施健吾さん

(一社)九州オープンユニバーシティ理事・研究員。日本産維管束植物の分類学的再検討に関する調査・研究に従事。魚、昆虫、哺乳類などの調査など年間の大半年を熱帯雨林や照葉樹林など様々なフィールドで過ごす。今回は自然界のごみについて話してもらった。



榎原麻紀子さん

アメリカ西海岸サンディエゴ在住。コロナのパンデミックを機に6歳、4歳、1歳の3人の子ども達と夫を巻き込み「ゼロ・ウェイスト(ごみ)」生活を始める。包装のあるもの、使い捨てのものを使わない生活を楽しんでいる様子を紹介してもらった。



西新治さん

京北黒田在住のおじいさん。おーらい黒田屋でも活動。昔の家には洗い場である「いとや」があった。流しで出たごはん粒は下の池にいた鯉が食べ、野菜くずや生ごみも、鶏や牛が喜ぶものは立派なえさになった。家畜の世話はずいぶん役目だった。昔のお風呂で燃やした木片や紙ごみの灰、牛や鶏のふんも、肥やしにして畑にかえていた。等、60年前の京北の生活を写真を交えて紹介してもらった。

4年生の声

- ◇布施さんは、自然界にごみはない、葉や骨は誰か別の生き物が必要としていると言っていた。
- ◇榎原さんが言うように、まずはかんたんなことからやろうと思いました。
- ◇私が一番驚いたのは、昔はごみがなかったことです。今はごみがたくさん出ているので、今もたくさんの方がエコなことをできるようになったらいいと思いました。
- ◇やさいの皮とかは捨てずにひりょうにもなるのですごいと思いました。
- ◇コンポストをすることで生ごみがなくなることがわかりました。
- ◇ごみは自然が出ているのではなく、自分たちが出ているんだなと思った。
- ◇できるだけごみをださないようにしようと思いました。

今後は、紙ごみや生ごみについて更なる学びを深めて行きます。

京北SDGs農業研究会 ～京北における持続可能な農業の在り方を学びあおう!～

京北地域の農家の方など12名が集まって、2月4日に第二回の研究会を開催しました。今回は京都大学大学院地球環境学堂景観生態保全論の貫名助教と京都農業の研究所(株)の間藤氏を招き、花脊の事例をもとに、名産品であるチマキザサをはじめ、生業やうつくしい景観が地形や植生から必然的ともいえる形で生み出され、京の文化や食、暮らしと結びついた経緯をお話いただきました。自然環境に恵まれる京北地域において、地元や近隣地域にとって不可欠なモノ、コト、循環の輪、景色を生み出すSDGs農業ブランドについて意見交換をおこない、農業にかける手間と機械化、肥料や品種選び、環境負荷の評価方法、消費者へのPR方法、若者を呼び込むしかけなどが論点になりました。



ことすアップサイクルコレクション

「アップサイクル」とは??

捨てるものや眠っているものに手を加え、デザインや使い方などを工夫して、元より価値のある新しいものに生まれ変わらせること。持続可能な循環型社会の実現に向け、世界でも注目を集めています。

例えば・・・



読み終わった新聞紙



京都大学超SDGsシンポジウム(3/7~13)にて迫力の展覧会開催後も、一部の展示は継続!皆さんのアイデアも大募集!是非「ことす」へお越してください!

※ 廃棄されるはずの“かりゆしウェア”を “ハイファッションスーツ”として再生

OKINAWA SUITS

社会問題にもなっている衣類の大量廃棄。新たなカルチャーファッションを生み出しごみ問題に寄与する。



※ 沖縄の伝統染織物。夏の軽装として定着しています。

京都で着物を染めてきた 伝統工芸の技

大植染工
協力: NISHIJIN+



時代と地域を 超えるチャレンジ!

= ?



会場ではスーツの試作品とファッションモデル・トラウデン直美さんが着用した様子をご覧ください!



たんすに眠る着物と、バイオプラでできたスリッパが誕生!ホテル等によるモニター実験中!(株式会社リコー、(一社)びっくりエコ研究所)



食べきれなかった試食用のごはんを発酵させて、アルコールシートに!(象印マホービン株式会社)



回収されたウールが糸となって可愛い洋服・アクセサリ・スリッパに!(京都女子大学)



不要になった布地が素敵な雛人形に!(リサイクルセンター木戸、講師 辻恵子)



レジ袋が福祉事業所との連携でカラフルでおしゃれなバッグに!(poRiff)



アンケートにご協力を! 抽選でプレゼント!

※前号に掲載した「京すだれ川崎」様の所在地は亀岡市の誤りです。お詫びして訂正いたします。